

TDB 電子認証サービス TypeA

TypeA ご利用ソフト更新ツール

実施手順書

2016年12月8日

Rev 1.00

株式会社 **帝国データバンク**

©TEIKOKU DATABANK, LTD. 2016

All Rights Reserved.

目次

1. TypeA ご利用ソフト更新ツール 概要	1
2. 更新ツール実行における注意点	2
2.1. 更新ツール実行時の注意点	2
2.2. 管理者権限について	2
2.3. Proxy 認証.....	4
3. 更新ツールの実行	5
4. トラブルシューティング	15
4.1. Java 実行環境に複数のバージョンがインストールされている場合	15
4.2. Java がインストールされていない場合	16
4.3. インストールする PC 環境がご利用ソフトの推奨する動作条件を満たしていない場合	17
4.4. インストールする PC のユーザ名 / ドメイン名に 2 バイト文字が含まれている場合	18

1. TypeA ご利用ソフト更新ツール 概要

「TypeA ご利用ソフト 更新ツール」（以下、「更新ツール」）は、以下の環境をご提供します。

- ・ TypeA ご利用ソフトの最新バージョンの有無の確認、旧バージョンの削除、および最新版インストール
- ・ Java のインストール状況の監視、メッセージ表示

【最新情報】

最新情報については、TDB 電子認証サービス TypeA ホームページをご参照ください。

URL : <http://www.tdb.co.jp/typeA/>

2. 更新ツール実行における注意点

2.1. 更新ツール実行時の注意点

更新ツールは、以下作業を実施するツールです。

- ・ご利用の PC にインストール済みの古い「TypeA ご利用ソフト」のアンインストール
- ・最新の「TypeA ご利用ソフト」のインストール

上記は、セキュリティポリシーなどの設定を引き継いで実行されます。

【ご注意】

更新ツールは「アンインストール」および「インストール」を行います。
そのため、途中でインストールをキャンセルしますと、電子入札などに必要不可欠なソフトをインストールせずに終了し利用できなくなりますので、必ず最後まで更新ツール一連の作業を実行してください。

2.2. 管理者権限について

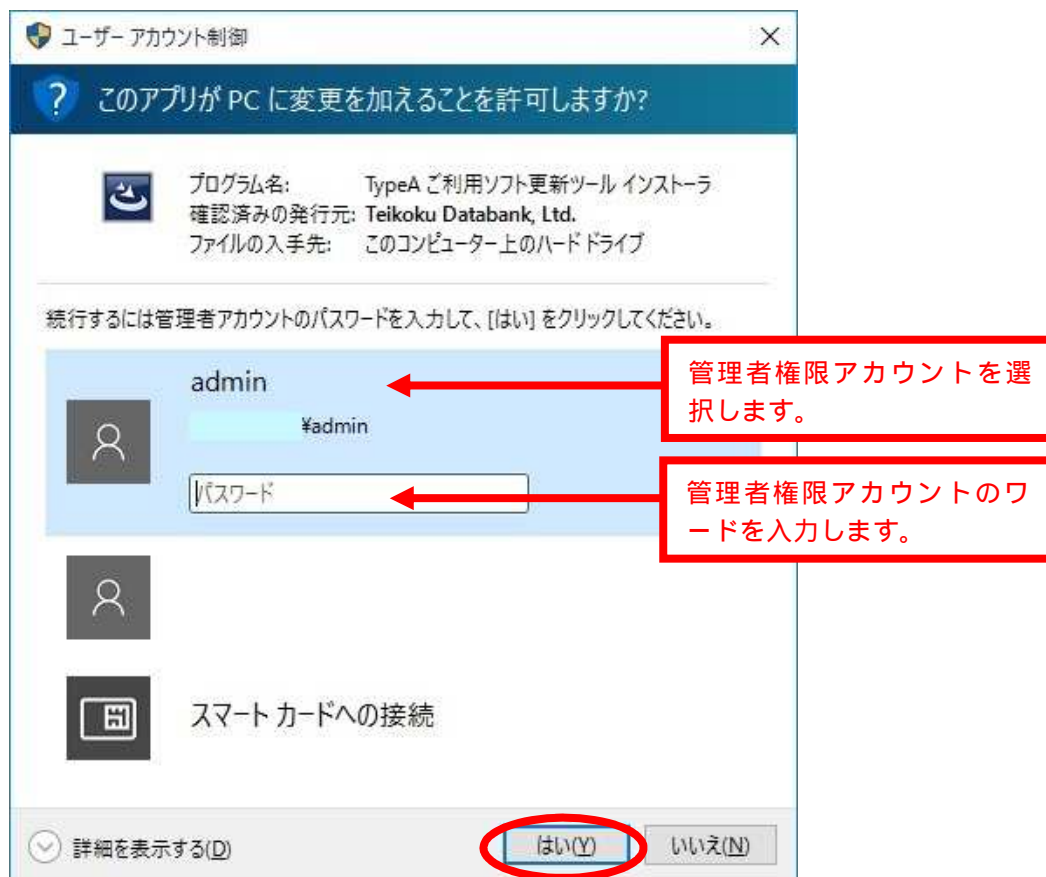
インストールは管理者権限を持つアカウント（Administrator グループのアカウント）で行ってください。また、各種ツールや機能実行時においても、管理者権限が必要な場合があります。

管理者権限にて動作が必要な場合は、ユーザ・アカウント制御（User Account Control：以降 UAC と記載）により警告画面が表示される場合があります。

管理者権限のアカウントでログオンしている場合は、以下のような確認画面が表示されます。内容を確認のうえ[はい]を選択してください。



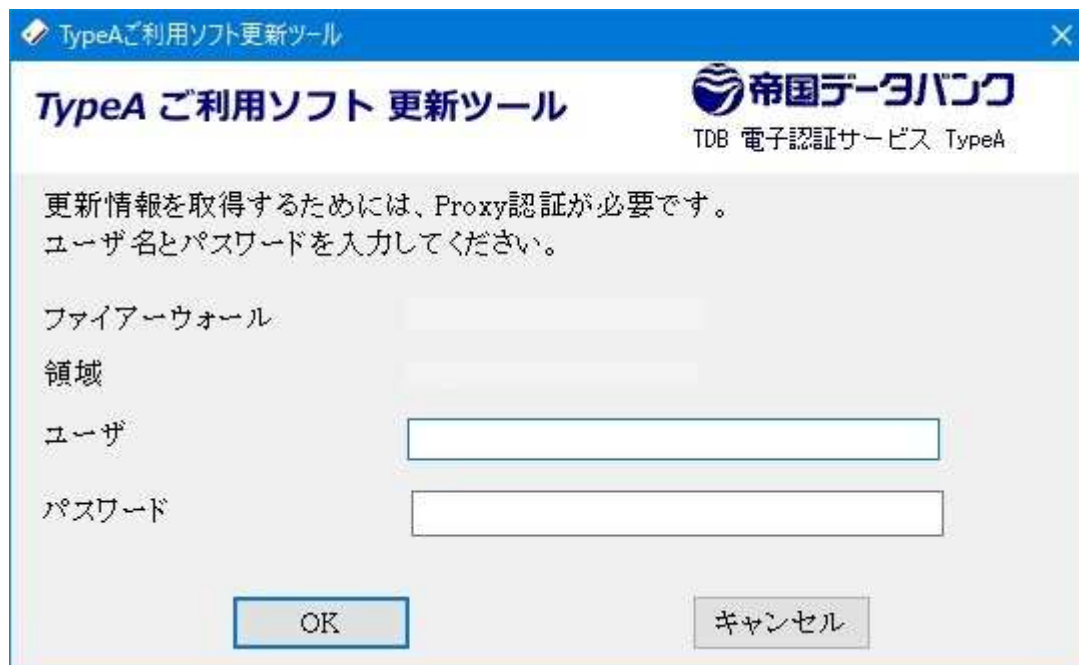
ユーザ権限のアカウントの場合は、以下のような UAC 画面が表示されます。管理者権限のアカウントを選択して、パスワードを入力し、[はい]をクリックすることで動作の継続が可能です。



2.3. Proxy 認証

インターネットへの接続に Proxy 認証を行っている環境の場合は、以下の画面が表示されます。
Proxy 認証に必要なユーザ・パスワードを入力してください。

もし、ユーザ・パスワードがわからない場合は、ネットワークの管理者、プロバイダ等にご確認ください。



TypeAご利用ソフト更新ツール

TypeA ご利用ソフト 更新ツール

帝国データバンク
TDB 電子認証サービス TypeA

更新情報を取得するためには、Proxy認証が必要です。
ユーザ名とパスワードを入力してください。

ファイアーウォール
領域

ユーザ

パスワード

OK キャンセル

3. 更新ツールの実行

更新ツールは以下により起動します。

- ・ スタートメニューから「TypeA ご利用ソフト更新ツール」を起動
- ・ PC 起動時（不定期）

< スタートメニューからの起動方法 >

【Windows Vista/7 の場合】

[スタート] -> [プログラム] -> [帝国データバンク] -> [TypeA ご利用ソフト更新ツール]の「TypeA ご利用ソフト更新ツール」を選択。

【Windows 8.1 の場合】

[スタート]画面の左下の矢印をクリックして[アプリ]画面を表示。[カテゴリ順]でソートして[帝国データバンク]の「TypeA ご利用ソフト更新ツール」を選択。

【Windows10 の場合】

[スタート] -> [すべてのアプリ] -> [て] -> [帝国データバンク]の「TypeA ご利用ソフト更新ツール」を選択。

「Anniversary Update」（バージョン 1607）では、以下の手順となります。

[スタート] -> [て] -> [帝国データバンク]
[すべてのアプリ]の選択は不要です。

更新ツールが起動すると、以下のような画面が表示されます。

TypeA ご利用ソフト 更新ツール

帝国データバンク
TDB 電子認証サービス TypeA

推奨される「TypeAご利用ソフト」のインストールを開始します。

インストールを開始する場合は、[インストール]をクリックしてください。
(完了までキャンセルしないようご注意ください。)

手順は以下リンク先に掲載している
「更新ツール実施手順書」(PDF)をご参照ください。

後でインストールする場合は、[キャンセル]をクリックしてください。

[現在のインストール状況] TypeAご利用ソフト: なし
Java実行環境(32bit版): 1.8.0_101

エラーや操作方法については以下のよくある質問をご確認ください。
http://www.tdb.co.jp/typeA/support/01a_15.html

インストール

キャンセル

【お知らせ】2017年1月の申込から、法人の電子証明書には法人番号を格納します。
法人番号に対応した「TypeAご利用ソフト」75.2をリリースしました。

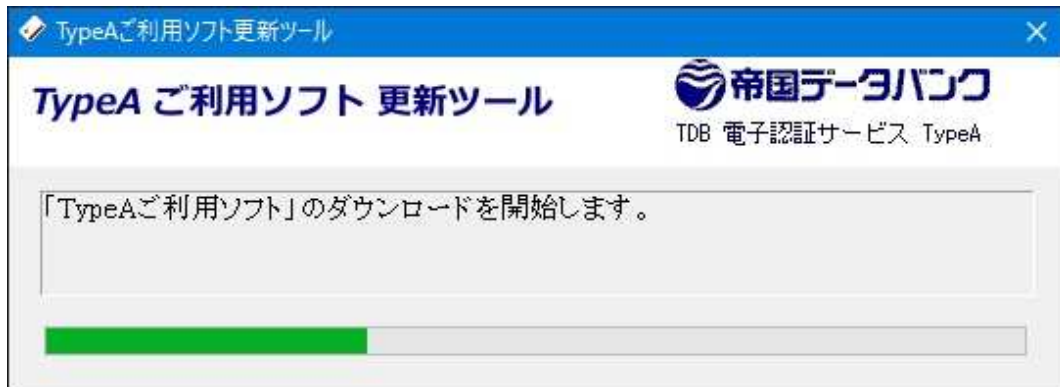
電子入札など案件がないことを確認

(案件最中の場合は、この段階で右の[キャンセル]ボタンを押してください)

インストールする場合は、この後の処理でキャンセルしないよう、十分にご注意ください。

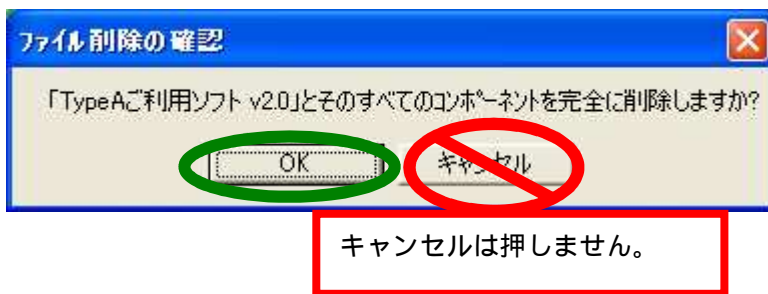
電子入札などの案件途中である場合は、
[キャンセル]ボタンを押して更新ツール自体を終了させてください。

「ご利用ソフト」のダウンロードが開始されます。
ダウンロード完了までしばらくお待ちください。

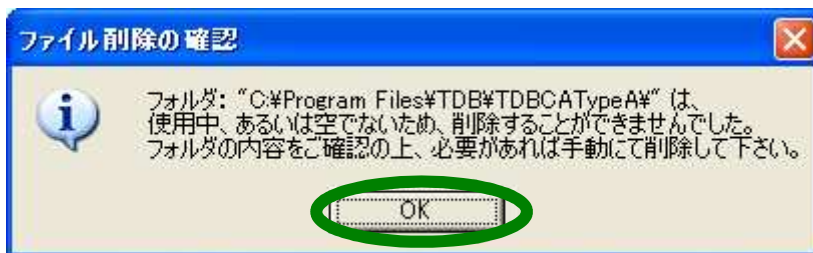


旧バージョンの「ご利用ソフト」がインストールされている場合は、自動的にアンインストールを行います。

「ご利用ソフト V2.0」の場合は以下のメッセージが表示されます。
必ず[OK]ボタンを押してください。

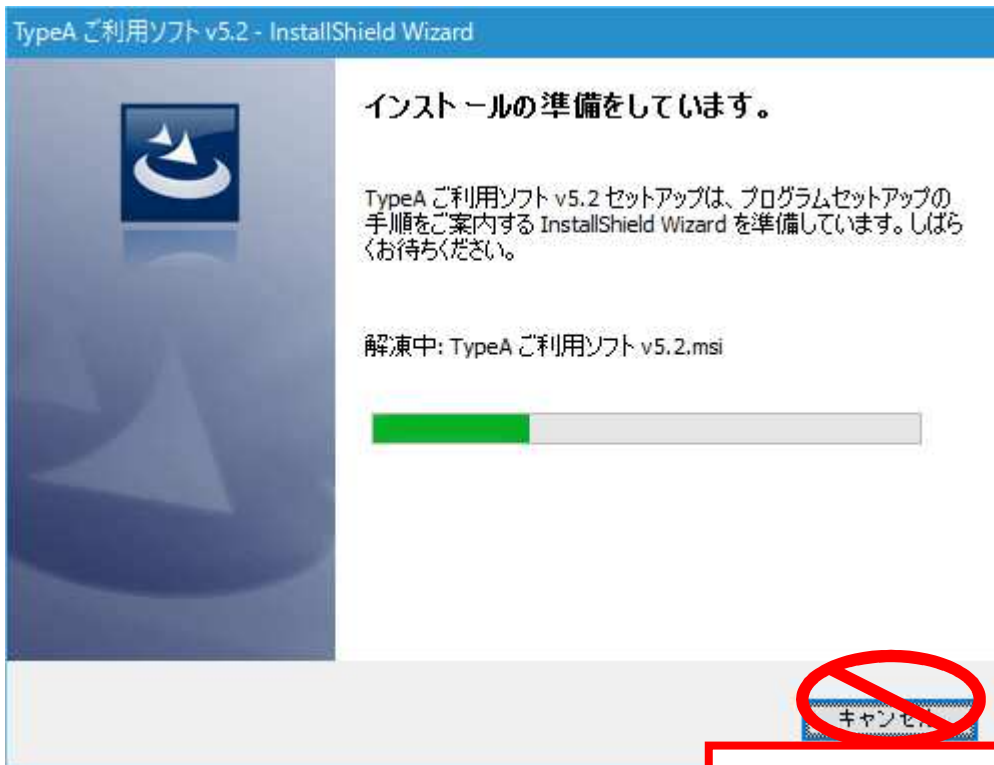


「ご利用ソフト V2.0」のアンインストール最後に以下のメッセージが表示されますが**内容は無視して（手動にて削除は不要）**、[OK]ボタンを押してメッセージを閉じてください。



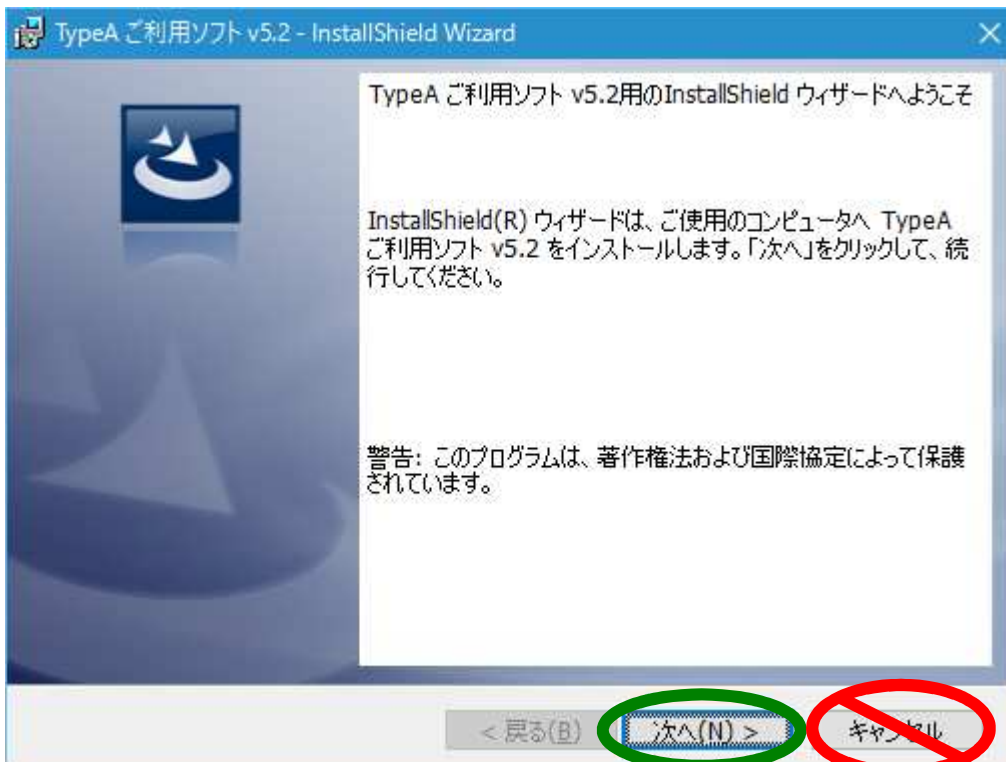
「ご利用ソフト」のインストール画面が表示されます。

【キャンセル】ボタンは押さないよう、ご注意ください。



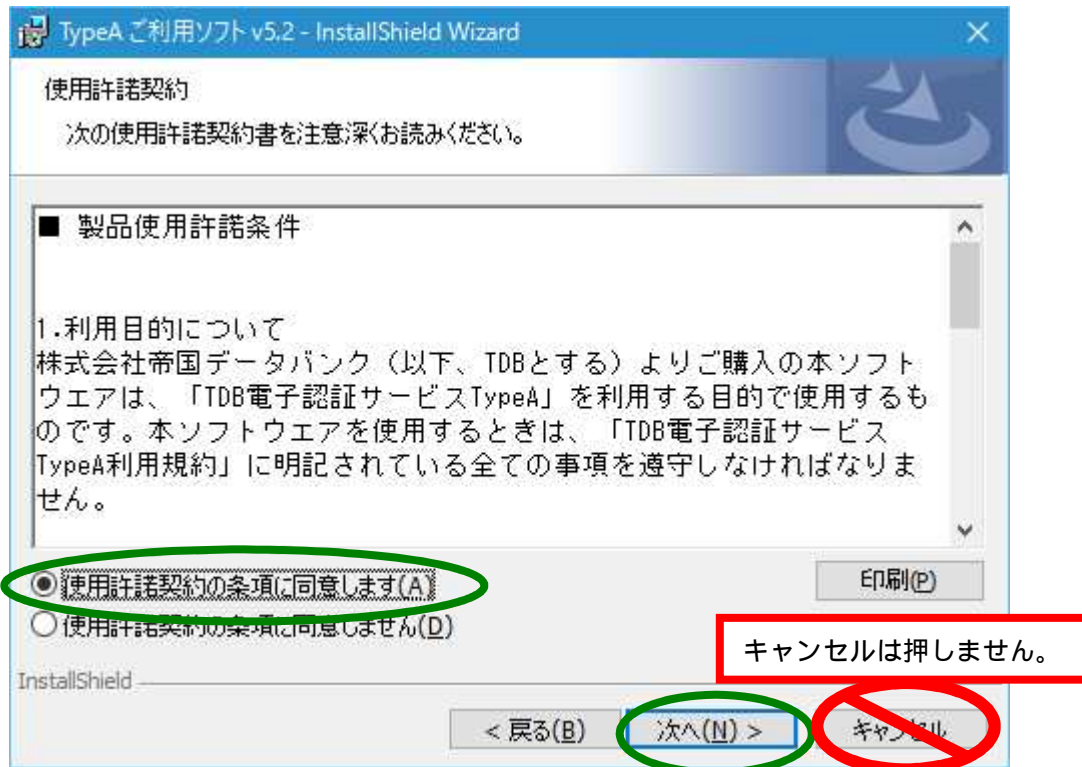
キャンセルは押しません。

インストールの準備に問題がなければ以下の画面が表示されますので、[次へ]ボタンを押してください。**【キャンセル】ボタンは押さないよう、ご注意ください。**

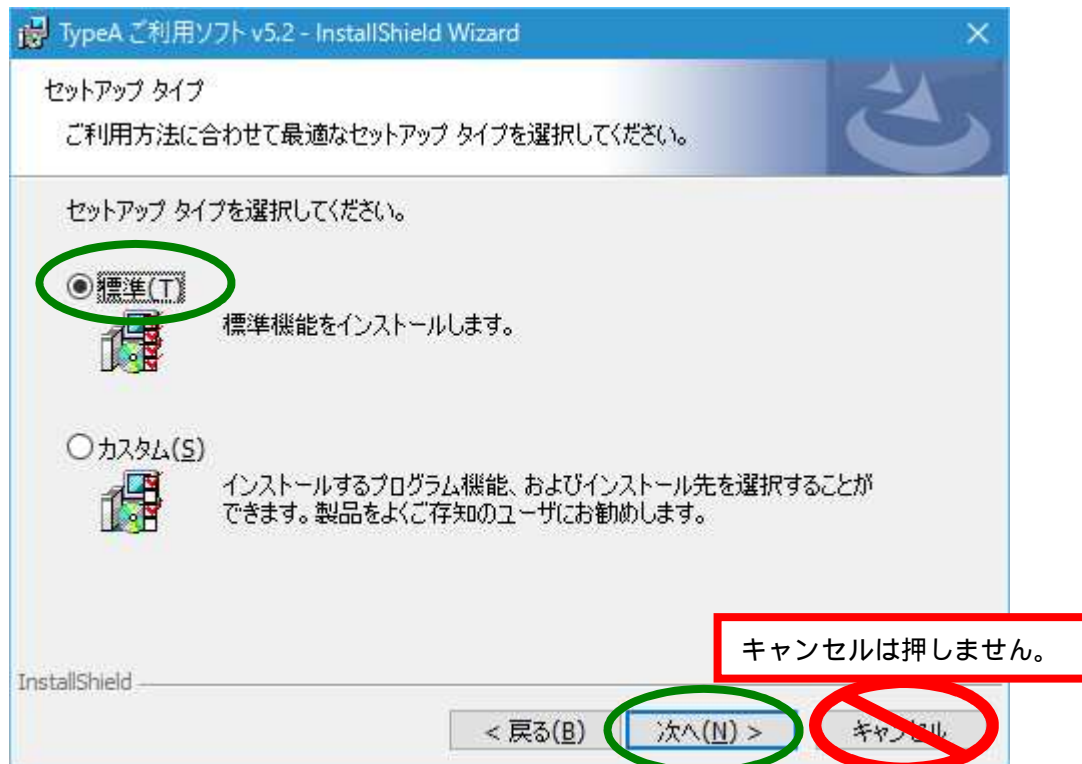


キャンセルは押しません。

使用許諾契約条件をお読みになり、同意されましたら[使用許諾契約の条項に同意します]を選択し、[次へ]ボタンを押してください。【キャンセル】ボタンは押さないよう、ご注意ください。



セットアップタイプの選択画面が表示されますが、通常は[標準]を選択し[次へ]ボタンを押してください。自動的に「ご利用ソフト」の旧バージョンで使用していたプログラム機能を引き継ぎインストールが行われます。【キャンセル】ボタンは押さないよう、ご注意ください。

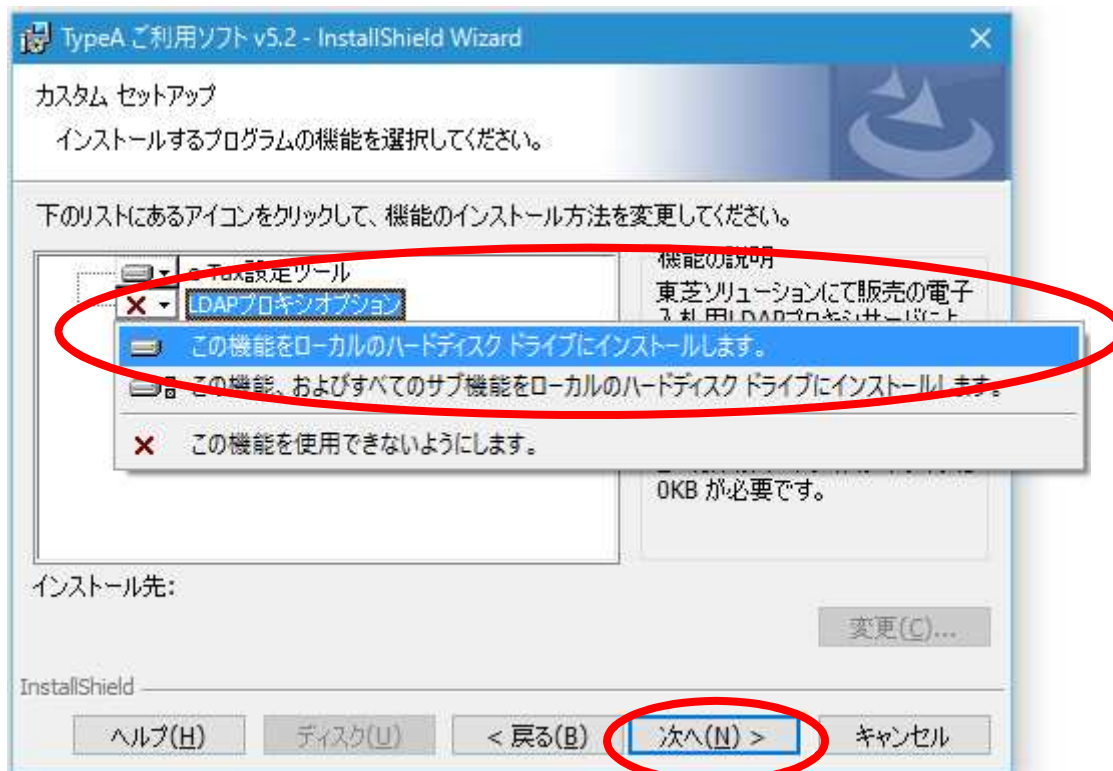


カスタムセットアップ

[セットアップタイプ]画面で[カスタム]を選択後、[次へ]をクリックすると、以下の画面が表示され、「ご利用ソフト」のインストールフォルダを変更したり、オプションツールをインストールできます。

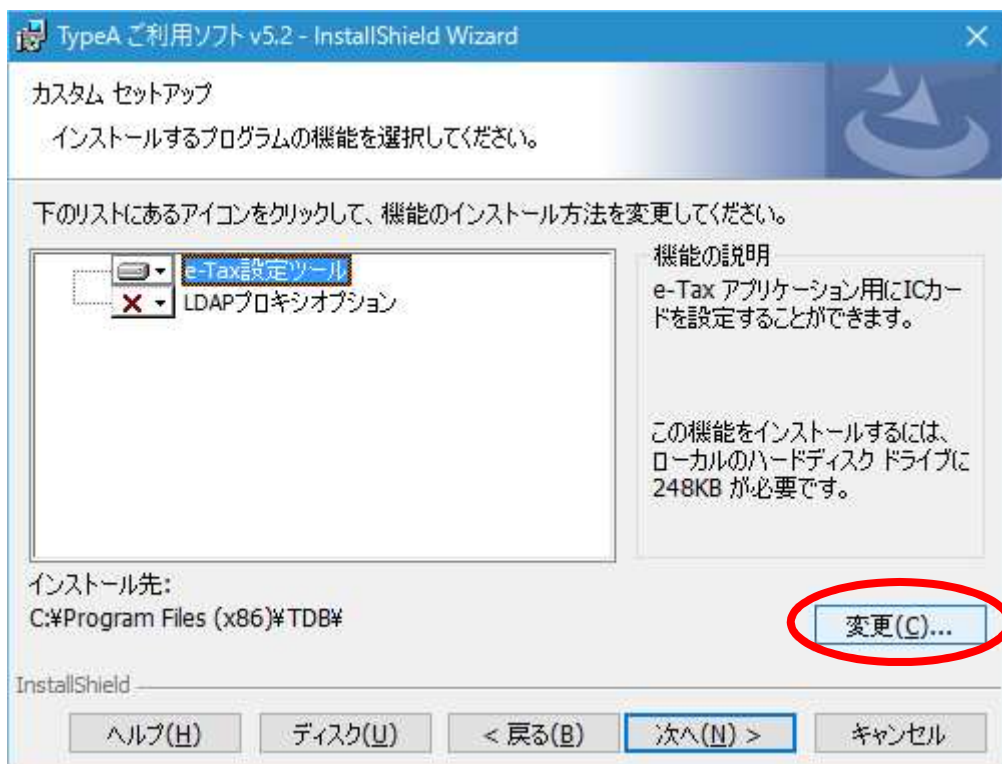
LDAP プロキシオプション

LDAP プロキシオプションは、標準のセットアップではインストールしない設定になっているため、ご利用になる場合には「この機能をローカルのハードディスクにインストールします」を選択し、[次へ] ボタンを押してください。



インストール先変更

[変更]ボタンを押すと、「ご利用ソフト」のインストールフォルダを変更することができます。

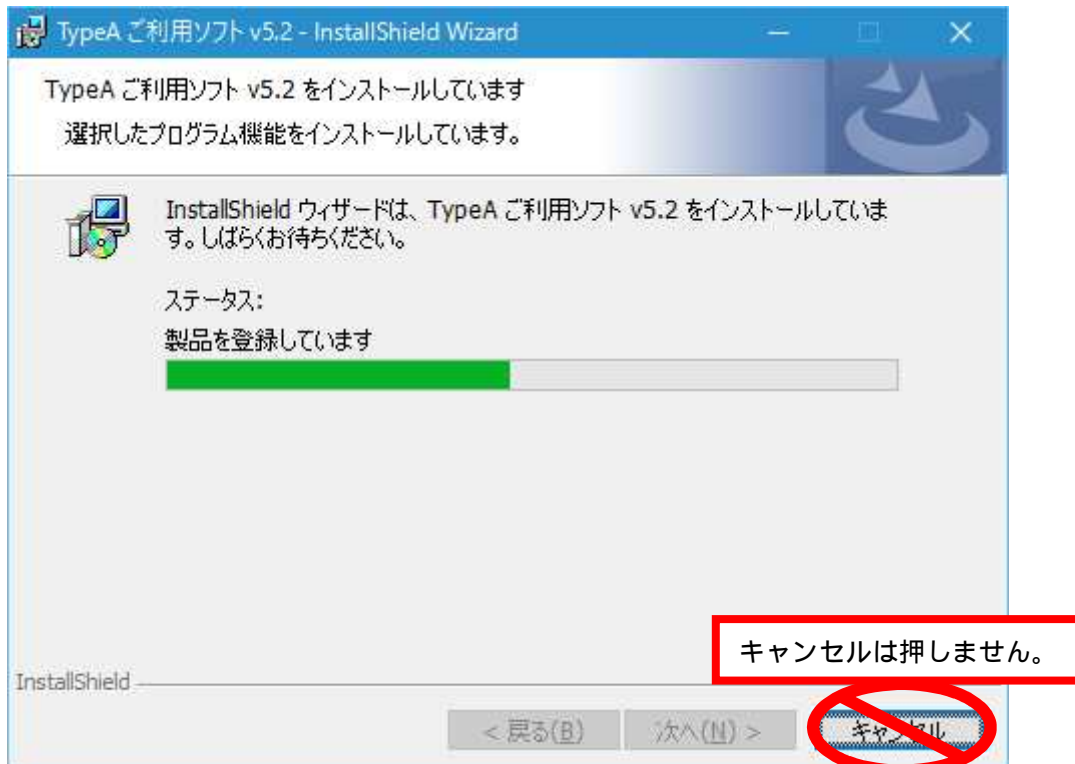
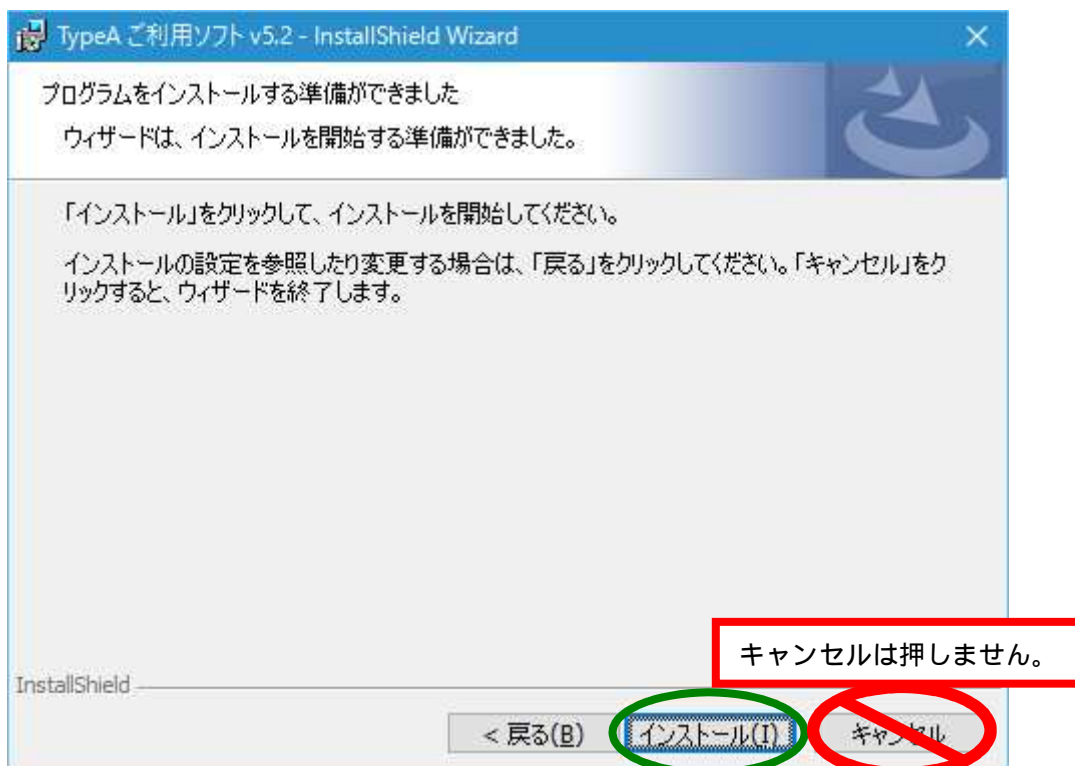


「ご利用ソフト」をインストールするフォルダを指定し、[OK]ボタンを押してください。

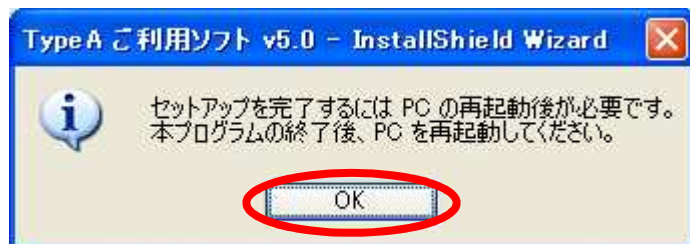


[インストール]ボタンを押し、インストールを開始してください。

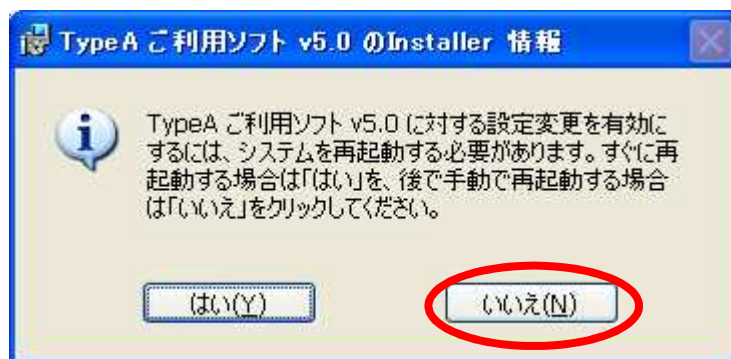
次ページのような画面が表示されます。**[キャンセル]ボタンは押さないよう、ご注意ください。**



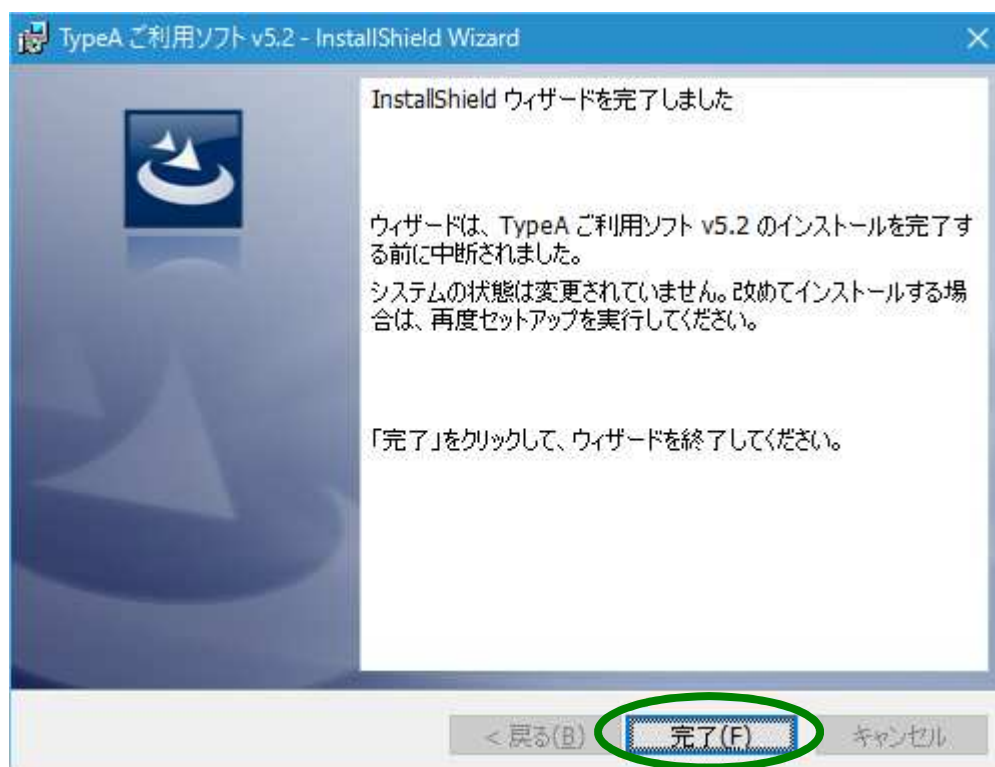
インストール中に以下のどちらか、または両方の画面が表示されることがあります。
表示された場合は、全てのインストールが完了後に、PCの再起動を行うようにしてください。



以下の画面が表示された場合は、すぐに再起動は行わないように「いいえ」を選択してください。



インストールが完了すると、以下の画面が表示されます。[完了]ボタンを押してください。



「ご利用ソフト」のインストールが完了すると「ご利用ソフト更新ツール」の完了画面が表示されます。[終了]ボタンを押してください。PC環境によっては表示まで時間を要する場合があります。



以上でソフトウェアのインストールは終了です。

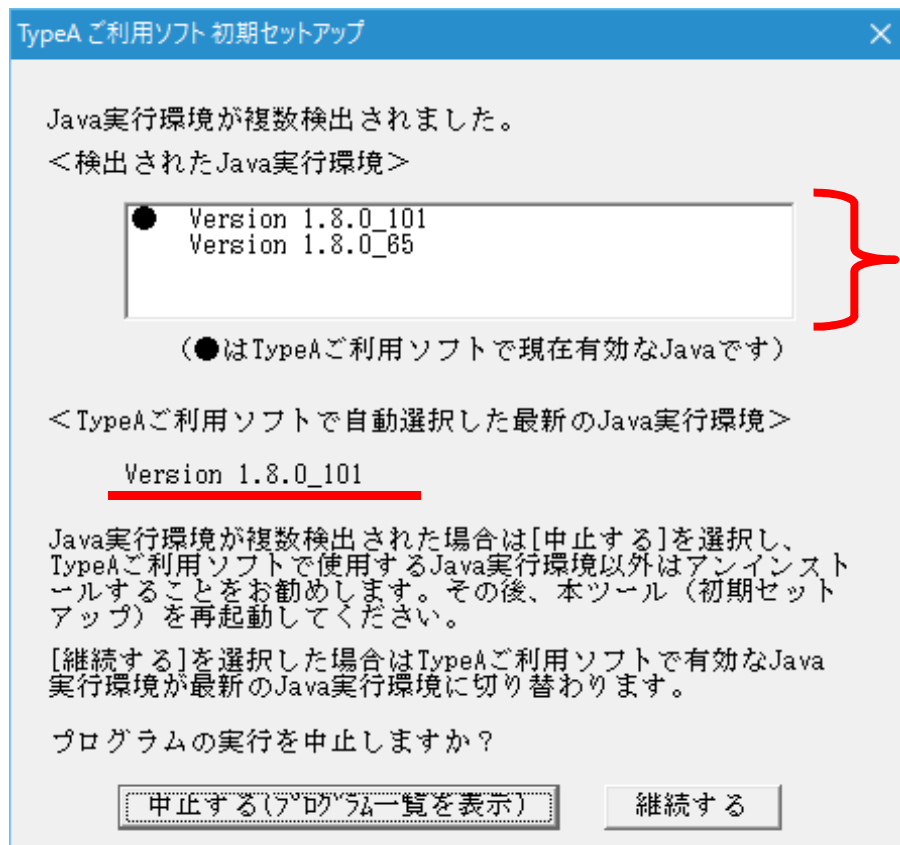
「TypeA ご利用ソフト」が動作できる環境が整いました。

4. トラブルシューティング

4.1. Java 実行環境に複数のバージョンがインストールされている場合

お使いの PC に複数の Java 実行環境がインストールされている場合には、以下のようなメッセージが表示されます。

なお、初回インストール時には「 」は表示されません。



初期セットアップ中に複数の Java 実行環境が検出された場合は、できる限り「中止する(プログラム一覧を表示)」を選択し、Java 実行環境を 1 つにするようにしてください。

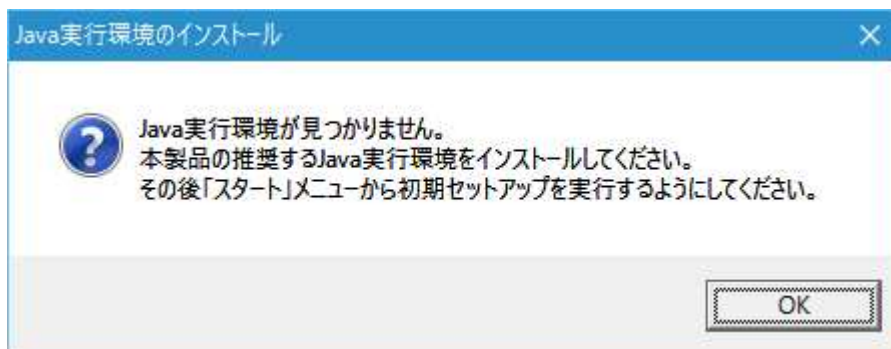
発注機関が推奨するバージョンと自動選択された Java 実行環境が異なる場合は、[中止する(プログラム一覧を表示)]ボタンを押して、Java 実行環境を削除してください。

その後、発注機関が推奨するバージョンの Java 実行環境をインストールし、スタートメニューより[初期セットアップ]を起動し、初期セットアップを完了させてください。

Java 実行環境が複数必要であり、自動選択された Java 実行環境が発注機関の推奨するバージョンであれば[継続する]ボタンを押し、初期セットアップを完了させてください。

4.2. Java がインストールされていない場合

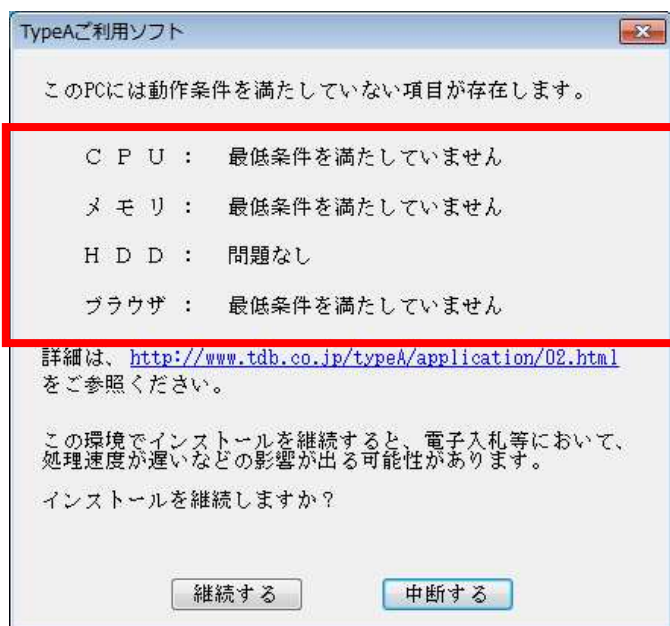
PC に Java がインストールされていない場合は、以下のようなメッセージが表示されます。



適切な Java 実行環境（「ご利用ソフト」がサポートしており、且つ発注機関が推奨するバージョン）をインストール後、ツールメニューの[初期セットアップ]を起動し、初期セットアップを完了させてください。

4.3. インストールする PC 環境がご利用ソフトの推奨する動作条件を満たしていない場合

ご利用ソフトの推奨する最低スペック、推奨スペックを満たしていない場合は、以下のようなメッセージが表示されます。全ての項目が動作条件を満たしている場合、メッセージは表示されません。



上記メッセージが表示された場合は電子入札等において、処理速度が遅いなどの影響が出る可能性があるため、**[中断する]ボタンを押して、別のPCにご利用ソフトをインストールすることをおすすめします。**このままご使用になる場合は**[継続する]ボタンを押してインストールを開始してください。**

PC 動作条件判定基準

判定項目	OS	「問題なし」表示	「推奨条件を満たしていません」表示	「最低条件を満たしていません」表示
CPU	Windows Vista Windows 7 Windows 8.1 Windows 10	1600MHz 7コア以上	-	1600MHz 7コア 未満
メモリ	Windows Vista Windows 7 Windows 8.1 Windows 10	1.0GB 以上	-	1.0GB 未満
ブラウザ	Windows Vista	IE7* IE8* IE9	-	-
	Windows 7	IE8* IE9* IE10* IE11	-	-
	Windows 8.1	IE11	-	-
	Windows 10	IE11	-	-

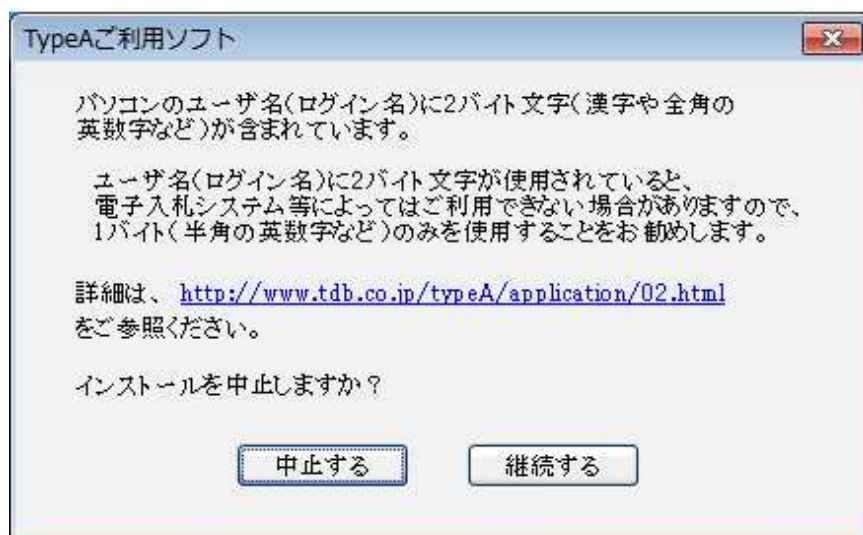
*: 「更新ツール」では、「Microsoft で未サポートである」旨の警告メッセージが表示される。

4.4. インストールする PC のユーザ名 / ドメイン名に 2 バイト文字が含まれている場合

PC のユーザ名およびドメイン名に 2 バイト文字（漢字や全角の英数字など）が含まれている場合は、以下のようなメッセージが表示されます。

2 バイト文字が含まれた環境では、電子入札システム等にてご利用できない場合がありますので、[中止する]ボタンを押してインストールを中断し、1 バイト文字（半角の英数字など）に変更してからインストールすることをおすすめします。

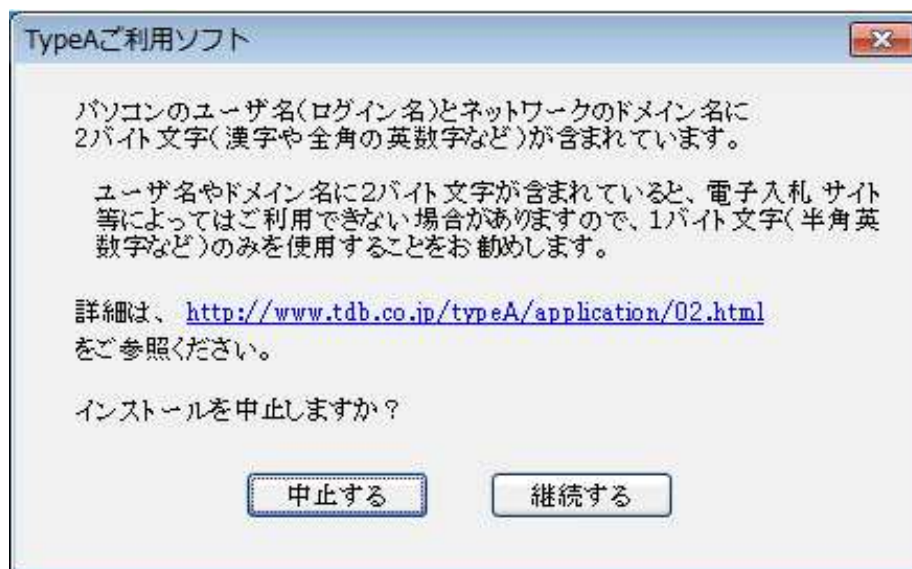
ユーザ名（ログイン名）に 2 バイト文字が含まれている場合のメッセージ



ドメイン名に 2 バイト文字が含まれている場合のメッセージ



ユーザ名（ログイン名）、ドメイン名両方に2バイト文字が含まれている場合のメッセージ



ユーザ名（ログイン名）とドメイン名に関する制限につきましては、電子入札コアシステム開発コンソーシアムの【電子入札コアシステムを利用する応札者向け制限事項の周知について】を併せてご確認ください。

URL : <http://www.cals.jacic.or.jp/coreconso/parts/ousatu.pdf>